



1 理由を予想しながら、北九州の交通について考えてみよう。

- (1) 「西国内海名所一覧」を見て、なぜ川の河口の近くに多くの船が泊められているのか予想してみよう。



西国内海名所一覧

- (2) 資料パネルを見て、江戸時代の北九州の代表的な水運、海運、渡しを調べよう。

()の水運、()の海運、()の渡し

- (3) 「長崎街道と筑前六宿」のパネルを見ながら、下の文の()を埋めて、現在の北九州市八幡西区にあった宿場を資料パネルから2つ探してみよう。

江戸時代の九州には、小倉城下から長崎まで通じる「()街道」が整備され、その道筋には多くの宿場が設けられました。その中でも特に福岡藩内で重要とされた6つの宿場は「()」と呼ばれ、多くの人やものが行き交いました。

現在の北九州市八幡西区にあった宿場 → () ()

- (4) 北九州の交通についてまとめた下の()に言葉を入れて文を完成させましょう。

船を使う()は、陸上輸送よりも人やものを一度に()に運ぶことができるという利点があります。また、小倉から長崎まで通じる「()街道」も整備されていました。これらのことから()と九州の玄関口に位置し、たくさんの人やものが集まってくる北九州は、古くから水上・陸上の()が発達しました。

2 江戸時代の北九州の特産品を調べよう。

参勤交代のときの大名の宿所としても栄えた小倉には、江戸時代に全国的にも有名だった特産品が多数ありました。下の写真の特産品を探してみよう。



の袴



の献上品



と紅羊羹の暖簾

3 学習を振り返って、感想や気付いたことを裏面に書きましょう。